



TACHIBANA

PTA会長挨拶



ご挨拶を申し上げます。
令和八年度南中学校PTA会
長を務めさせていただきます。
村上祥平です。
保護者の皆さまにおかれましては、日頃よりPTA活動にご理解
とご協力をいただき、誠にあ
りがうございませう。母校のPT
A会長を務めることになるとは
在学中は思ってもいませんで
したが、悪い出の詰まりたい
な南中学校、大事な後進たち
のために、力を尽くしてまいり
たいと思います。

昨年、PTAのあり方が、ユ
ーティスや新聞などで取り上げら
れるようになり、様々な課題を
耳にすることも多くなりました。
現在のPTAと組織に對しては
「面倒なモノ」というイメージ
ばかりが大きくなってきている
ばかりを残念に思います。本来は
「子ども達のために何かやっ
てあげたい」「子ども達の通う
校がより良いものになっ
てほしい」という願望から、立
ち上がったものだと思っていま
す。

しかし、一方で、時代の流れ
とともに、家庭環境も多様化し
子ども達の習い事や地域のか
けりなどで時間を追われ、活
動に参加する余裕がなくなっ
ていくことに目を背けてはいけ
ないと思います。その時代に
合わせながらPTA活動を結

部活紹介



サッカー部

サッカル一部 部長 望月 悠生
顧問 梶山 敏夫
顧問 山本 昌之
顧問 山本 昌之
顧問 山本 昌之

2015年11月

[illegible]

男子卓球部

男子卓球部 部長 池田孝典
男子卓球部は今年四年生、一年生、二年生で活動しています。目標の成績は、みんなで高めよう、練習に励んで、大会出場をめざすことです。運動生活の様子を、版ししてきます。やりやうしい芸術です。一年生は、愛国高校と対戦しました。二年生は、後輩のよい本になるように、高橋なつこ選手、雲間ひろ子選手をしています。今年から一年がかりで、これからの三年の練習をしていきたいと思います。一年、二年、みんな仲良く、上下関係がうまくできて楽しく活動していきます。

女子卓球部 部長 山井心陽
私たちが女子卓球部は、三年生九人、二年生八人、一年生一人で活動しています。

男子テニス部

[illegible]

男子バスケット

[illegible]

吹奏楽部

吹奏楽部 部長 佐々木 誠
顧問 野口 浩二
吹奏楽部は、現在団員35名、活動範囲は市内、県内、近県まで広がっています。夏のコンクール「果敢大会」を目標として頑張っています。ですが、あつてもうすぐ夏です。毎日練習して、コンクールで活躍したいです。吹奏楽部は、吹奏楽の楽しさを伝えるために活動しています。吹奏楽部は、吹奏楽の楽しさを伝えるために活動しています。吹奏楽部は、吹奏楽の楽しさを伝えるために活動しています。

東 東

その部
門とい
ってク
ールに
練習し
てもこ
れに達
するに
いかん
という
人間、
又々た
れたか
の成長
の共い
大衆

陸上部

[illegible]

「おれは、おれが」

水泳部 部長 山本 優
顧問 嶋田 一彦
部員 21人
部活動に励んでいます。水泳部は校内外のプールで活動しています。夏休みには校外プールで、冬休みは陸上や校外プールで、それぞれ、全校生が使うプールを順番に順番に使っています。泳ぎに楽しさにつために日々積極的な練習にも取り組んでいます。部員が少なく、非常に小規模な部ですが、それぞれ目標に向かって、一致団結し、互いを尊重し励ましながら、一歩一歩前進し、一生懸命に取り組んでいます。互いに高め合っていくためにです。

女子バレーボール

女子バレーボール部は、三年生四人、二年生八人、一年生十人の計二十二人で活動しています。私たちは、校庭の隅上だけなく、種々の協力の援助やチームワークを大膽に活用して、日々の練習に励んでいます。チームメイトの目標は、一人ひとりが自分の役割を果たし、全盛でよりよいチームを築くことです。そのためにも、お互いに高め合つて、心で協力して、ますます活動的な、ミスマスのない後進の育成を大切に、チームのため、自分自身のために、活動せなうが活動して、できることが私たちチームの成長です。これからチーム一丸なつて、より高い目標に挑戦していきます。

その後の女子大生

男子バレー部
男子バレー部は、現在三年生が十八人、二年生一人、一年生七人の二十一人で、設備不足にせよ公式戦に出る事は、まだ多岐にわたって、今年春は、二年生が多人数でして、これによって、春の公式戦から出場し、開大で、練習進捗がでできた。中体連では、春期関東地区予選大会で、善の反響を、まず、東部地区で優勝し、県大会で、多く勝ち進んで優勝するまで、そのために、日々の練習で、少ない時間帯を有効に活用し、今のバレーは、より、多く、二、三投、パス、アプで、振って行進したいです。

美神品

[illegible]

6.

[illegible]

1

二、三、四年生は、
十人、二十人、三十人
と増えていきました。
あんなに楽しかった
ハソコには、もう
お友達のいない
子供がいました。
学年の終わりに
近づくと、みんな
泣いて帰る子が多
くなりました。

9. 先生が、

3年1組 萩原 亮

当日は、京都や奈良の歴史ある建物や文化に解れることが、貴重な体験になりました。また、差別・差別意識は、友達と協力しながら消した。楽しい時間を過ごすことができた。移動中や宿泊先で友達と話したことも良い思い出です。

今回の修学旅行を通して、日本の歴史や文化だけでなく、仲間と協力することの大切さ学びました。この経験を今後の学校生活にも生かしていきたいです。

私が修学旅行で思い出に残ったことはたくさんありますが、特に二つあります。まず一つ目は事前準備についてです。私は

大變をうけて、すでに破産がやがてまともなるの大恐慌に突入して、ついでが突如として来りて、美しい準備期間でした。

二つ目は、班別研修です。班別研修では、交通機関を過す、全て徒歩で行きました。最初は指示が通らず、激な雰囲気になりました。まずは計画通りにいかぬことがたくさんあり、笑顔が潰れてとても楽しかったです。

三年二組のメンバーで行けるのは最初で最後でした。この思い出は私の心の中に残るような最高の修学旅行になりました。

修学旅行では事前学習から当日まで多くのことを学ぶことができました。事前学習では京都や奈良について調べ、クラスのみんなが

めした。その中に参加で、その中に準備を道
大岡吉を改めて感じました。当日は、短距離研
修でそれそれが協力しながら行動しました。
途中でハフニングがあった班も多かったです。
が、班のみんな中学校生活で乗り越えることが
できました。中学学校生活で乗り越える修学
旅行は、とても楽しい。旅行で、学んだ経験をこれ
からの学校生活にも生かしていきます。

私たちにとって人生に一度の修学旅行は、とても充実した三日間でした。まず、事前準備では近で回るコースや京都で買いたいお土

座席旅行きたり神社など考えました。最高の修学旅行にしたいという思いで、たくさん時間をたててきました。そして、修学旅行を迎えるた当日、みんなの表情は笑顔でいっぱいでした。そんな楽しき溢れる修学旅行でもハッピーなことがありますが、みんなで交え合ひ、果の贈ることができまして、三年四組の学級目標である「テトリス」はまた達成にほど遠いかもしれないけれど、この修学旅行で、クラスの中や、テトリスのスコア更新のために、三年四組が一ツになれていて、私ほのためにも感動しました。

私が修学旅行で思い出に残ったことをかき
ます。私は修学旅行で六人班でした。班別研
修では、清水寺や平安神宮、京都タワーなど
を見学しました。特に私が印象的だったのは

金閣寺です。テレビで写真で見たよりも美しい。迫力がありました。また京都タワーでも高さ百メートルから京都を一望すること出ました。私は学級委員だったため、頻や頻とクラスのみんなをまとめた。クラスのみんなたちの希望をこの役割があり、とても大得意でした。しかし、協力してくれただけのみんなが、ハニシは度々ありました。が、無事最後まで終えることが出来ました。今回の修学旅行で京都の歴史や文化について、今迄の修学旅行でたいてなく、協力することの大切さや責任を、だてで行動したりすることの難しさも学びました。

修学旅行の際先では、いろいろなことを学びました。

一日目の奈良では、歴史を学びました。奈



私た二年生は、鎌倉人社会見学に行きます。鎌倉での思い出はたくさんあります。今年は小町通りに行けることになり、たくさん歴史ある店がたくさんあって、通るだけでも楽しく、美味しそうなものや、気になるもののがたくさんありました。高徳院では日本の中で有名なところなど大仏が座っている今にも動き出しそうな迫力で自分が嫌になつてうででした。電車でも学ぶことがあり、電車内のルールやマナーをみんなで確認して、大人に一番近付けたと思います。新緑の大地でも班員たちと楽しみながら展示を見て回る事ができました。多くの思い出ができましたが、ルールやマナーを守りながら仲間と過ごした時間が一番の思い出となりました。



ほくは、社会見学を通して、この学年の良
さを見つけることができました。その中でも特
に二つすごいなと思ったことがあります。
一つ目は、協力ができるところです。ほくは

実行部長で、協会を回る面が多かったのですが、全員が話し合いに参加したので社会科見学をよいものにしようとする意欲が高いと感じました。

二つ目はあいさつです。社会科見学前も元気なあいさつが多かったのですが、当日もバスの運転手さんや、観光客の人たちにもあいさつができていた。当たり前だけれど、すごいなと思いました。

下田を通して新しく踏み出した一歩をこれからの生活に生かしていきたいです。

